

資料2

令和7年度第2回

逗子市地域公共交通活性化協議会

2025年(令和7年)10月30日

逗子市市民アンケート調査結果報告書

【速報版】

令和7年10月

1. 令和5年度住民自治協議会アンケートについて

1) 実施の経緯

逗子市では、地域住民の高齢化や交通弱者の増加に対応するため、新たな地域交通手段の導入の検討を行っていた。具体化に向けて、地域住民が抱える課題やニーズを把握するため、令和5年度に、各住民自治協議会を通じて住民の意向調査を実施した。

2) 実施方法

調査項目及び実施方法は、各住民自治協議会に一任し、各自治会・管理組合を通じてアンケート調査票の配布・回収を行った。そのため、地区ごとに調査方法や設問内容は異なる。各地区の調査方法・回収結果は以下のとおり。

▼ 各住民自治協議会の調査方法・回収数

地区	調査方法	回収数
沼間	住民自治協議会加盟自治会へ調査票を配布。	129件 (参加団体:14自治会)
池子	住民自治協議会加盟自治会を通じて、調査票を全戸配布。	810件 (参加団体:14自治会、約2,020世帯)
久木	久木連合町内会(久木1~7・9丁目)、ハイランド(久木8丁目)、山の根の代表者へ調査票を配布。	12件 (自治会代表者2件、意見書10件)
小坪	アンケートは実施せず(住民自治協議会有志メンバーによる意見交換会の会議録を受領)	-

<p>●●小学校区長自治連携会 新たな地域交通の導入に関する意向調査</p> <p>逗子市では、暮らしに必要な移動手段となる新たな地域交通の導入に向けて、2024年(令和6年)度中に実証実験を行うための検討を進めています。 そこで各住民自治協議会とおおきに意向調査の協力依頼を受けました。 下記の項目についてのご意向を是非、教えていただけたらと思います。</p> <p>1. 質問体名() 記入者名()</p> <p>2. お住まいの地域で新たな地域交通の導入が必要だと思いますか? A. 運用が必要 B. 運用不需要</p> <p>以下、2で導入が必要だとお答えいただいた方のみ、ご記入願います。</p> <p>3. 行き先として、希望する場所はどちらですか? A. 市内りのバス停 B. 池子駅 C. 東逗子駅 D. 和泉寺駅 E. その他()</p> <p>4. お住まいの地域の状況を教えて下さい。 A. 古い上 B. バス停まで遠い C. 主道路より奥 D. その他()</p> <p>5. 実現上の実現を希望しますか? A. 希望する B. 希望しない</p> <p>6. どのような目的で利用したいですか?(例: 買い物、通院、運動、漢字など) ・ ・</p> <p>7. 必要と思われるルートを教えてください。 (できましたら、迷因等に朱書きでルートを記載してください)</p>	<p>池子小学校区住民自治協議会の直さまへ (全戸宛) 2023年8月 池子住民会議 会長 田島知雅</p> <p>新たな地域交通手段の導入に関する意識調査</p> <p>池子住民はおかげで、当地区から東逗子駅に通じるバス路線の充実を願ってきました。今年度は池子市内各地域の交通改善問題を解決するために、それまでの実現の移動手段に対する意識調査を始めました。そのため実証実験可能な計画について、実際に実証実験を行う計画を進めています。池子住民は運送距離の長い「当地区から東逗子駅ルート」の実現を実験を希望するにあたり、皆様の意見を計画に反映させるべくアンケートを行います。皆様のご意見をお聞かせ下さい。</p> <p>アンケートの配布にあたって</p> <p>・選ばれた市は、3年後に住民登録している地元市町の駅設置、東逗子駅に無証する複数路線の建設計画を進めていました。施設の機能は現在の「地元ミニマティックセンター、図書館分室、宿泊会館(社会福祉施設)、子育て支援センター、東京包括支援センター」等が移転する計画です。また東逗子市は他のコミュニティバス等の整備も行っています。</p> <p>・これまで池子住民もJR池子駅や東京メトロ南北線の整備も行なってきましたが、神武寺トンネルから東逗子駅開業までの道程が早く、運行に難しくと言われてきました。</p> <p>・アーバンビレッジでは自治会がオーナーマント波谷を池子タクシーと共に実証実験をしましたが利便性が少なく、費用がかかるべきと意見がございました。</p> <p>アンケート(印をつけて下さい)</p> <p>1) 年齢 ①20代、②30代、③40代、④50代、⑤60代、⑥70代以上 (ご家族の年齢で、複数回答可)</p> <p>2) お住まいは池子町にありますか? ①1丁目、②2丁目、③3丁目、④4丁目</p> <p>3) 自治会 ①自治会員はどちらですか? ①東逗子第一、②東逗子第二、③アザリエ第一、 アザリエ第二、④アザリエ第三、⑤アザリエ第五、⑥東逗子ハイツ、⑦ライオンズマンション、⑧ライオンズスクエア、⑨通勤、⑩東逗子駅へのアクセス、⑪その他</p> <p>4) 東逗子駅までの利用料金はどの程度ですか? (質問回答欄)</p> <p>①公共交通機関料金 ②自転車 ③歩道、④通勤、⑤東逗子駅へのアクセス、⑥その他</p> <p>5) 池子駅までの希望する運賃時間帯(希望する時間帯に印をつけて下さい) ①8:00~10:00、②10:00~12:00、③13:00~15:00、④15:00~17:00 ⑤その他特に希望する時間帯</p> <p>6) 東逗子駅までの交通手段、運行システム、などの地域交通に関するご意見があれば記入下さい。アイデアのレベルでも結構です。</p> <p>7) 「池子住民会議から東逗子駅新規プロジェクト」を設立する計画で、メンバー募集をします。ご協力いただけるでしょうか? (後日チラシにて募集致します) ①プロジェクトメンバーに参加する、②空いた時間に登力する、③協力できない。</p> <p>アンケート用紙の配布と回収は各自負担・管轄組合へお願いしています。9月17日までに提出ください。</p>
---	--

▲ 沼間・久木地区で配布した調査票

▲ 池子地区で配布した調査票

3) 調査結果(概要)

各地区の調査結果(概要)を以下に示す。

▼ 各住民自治協議会の調査結果(主な意見)

地区	区分	主な意見
沼間	地区の状況	・坂の上に住む方が多い。
	希望の行先	・東逗子駅、逗子駅を希望する世帯が大半を占める。 ・その他、ヨークマート、福祉会館等の意見あり。
	移動目的	・買い物、通院の目的が主。
	実証実験	・実施を希望する世帯が9割弱を占める。 ・希望ルートは、以下の3通りが挙げられる。 ➢ 逗子アーデンヒル＆南台住宅 ⇄ 東逗子駅 ➢ 駅裏(沼間2、4丁目)巡回 ⇄ 東逗子駅 ➢ 逗子グリーンヒル＆興人東逗子巡回 ⇄ 沼間坂上バス停
	その他	・団地入口までバスが来てもらえると助かる。 ・田浦行などのバスが減便となり不便になっている。 ・コミュニティを循環するバスがあるとよい。
池子	地区の状況	・道幅の狭さや坂道が地域の課題となっている。
	移動目的	・買い物、東逗子駅への移動、通院の目的が主。
	その他	・東逗子駅へのアクセスを強化してほしい。 ・ミニバスのルート・料金を見直してほしい。 ・1時間ごとの運行本数があると良い。 ・休憩できるスペースがほしい。 ・電動キックボード ・アザリ工循環バスを東逗子駅も通るようにしてほしい。 ・ヨークマート送迎用のバスがあるとよい。 ・東逗子駅でタクシーが常に待機していてほしい。 ・自家用車有償運送旅客運送(公共交通空白地有償運送)、ライドシェア ・シェア自転車、タクシーチケット ・神武寺トンネル～東逗子駅間の道路を拡幅してほしい。 ・Uberタクシーの導入 ・コミュニティバス(ミニバス、ワンボックスカー)の定時運行
	地区の状況	・スーパーまでの道のりが長く、坂の上に位置する。
	希望の行先	・西友ハイランド店から利用者の自宅までを巡回する交通がほしい。
久木	その他	・“トウクトウク”的な客席付の三輪自動車や超小型EV車を導入し、地域のボランティアが送迎する仕組みがあるとよい。 ・近くの拠点に医療や販売の拠点が定期的に来てもらえるとよい。 ・金沢踏切の改修(歩道拡幅、右左折の角度の改善、エレベーター設置) ・自動配送ロボット(宅配、荷物を載せて団地内を巡回) ・超低速の電動三輪車の導入
	地区の状況	・南ヶ丘では逗子市内よりも鎌倉側に移動する人が多い。
小坪	その他	・実証実験を実施する前に、具体的なプラン(仮説や目的)を市が示してほしい。 ・地域の企業や店舗との連携・協力の可能性を検討できるとよい。

2. 調査概要

令和 5 年度住民自治協議会アンケートでは、地区別の移動需要や新たな地域交通の導入に対する意向について、地域住民の生の声を確認することができた。

今回新たに実施した調査は、令和 5 年度の調査結果を受け、全市統一の内容で調査票の設計を行ったものであり、以下の点を目的として実施した。

- ✓ 現在の移動の実態や潜在需要(隠れたニーズ)、需要の顕在化を阻害している要因を可視化し、市として強化すべき取組みを検討する。
- ✓ 今後の具体的な施策事業(例えば、新たな移動手段の導入や既存公共交通のサービス内容の見直し)を行う際の裏付けを得る。

▼ 調査概要

対象者	逗子市民(※無作為抽出した 3,000 人)
調査方法	郵送配布・郵送回収
回答期間	令和 7 年 9 月 19 日(金)～10 月 6 日(月)
回収票数	1,137 票 (回収率 37.9%)
調査内容	<ul style="list-style-type: none">・属性(年代、性別、居住地区、家族構成、運転免許の有無、歩行許容距離、歩行支障の状況)・日常生活を送る上での移動実態(目的・目的地、訪問頻度、理想の訪問頻度、交通手段、交通渋滞の実態、理想の目的地)・同居家族の移動実態(目的・目的地、訪問頻度、理想の訪問頻度、交通手段、交通渋滞の実態、理想の目的地)・同居家族の年代・運転免許の有無・送迎実態(目的、送迎頻度、送迎先、送迎時の車の運転、送迎の負担)・地域公共交通(鉄道・路線バス・タクシー)の利用実態(利用頻度、主な行き先、満足度、利用の際に感じる良い点・悪い点)・地域公共交通(鉄道・路線バス・タクシー)に対するニーズ
備考	<ul style="list-style-type: none">・対象者は高校生以上(令和 7 年度に 16 歳以上となる世代)の市民とし、中学生以下の子どもの移動実態については、親の調査票の中で可能な限り確認した。・年代別で必要サンプルを確保するため、地区間のバランスに留意しながら、傾斜配分の上、対象者を抽出した。

逗子市 地域公共交通に関するアンケート調査

卷之三

2. 送迎について

段、ご家族や知人の「通勤・通学・通園」「買物」「通院・通所」「習い事等」のためにあなたが行っている

3-2 市内の鉄道・路線バス・タクシーがどのように変われば、あなたは地域公共交通の利用を増やすと思いますか。
(会員専用) 路線バス・タクシーをこれまでドライブ3つまで回答可)

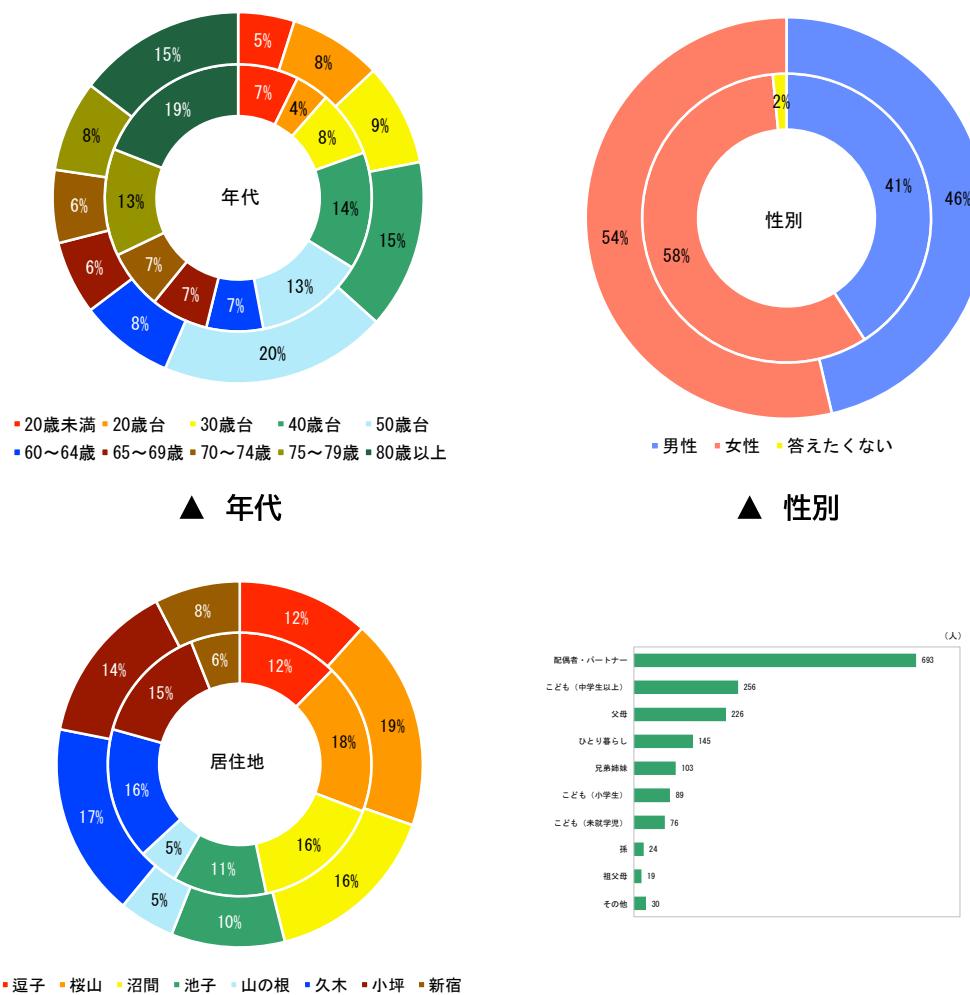
目次

3-1 あなたの普段の地域公共交通（鉄道・路線バス・タクシー）のご利用の実態についてお答えください。				
目的	送迎頻度	送迎先	送迎時の車の運転	送迎の負担
通勤・通学・通園	①週に3回以上 ②週に1～2回 ③月に1～2回 ④年数回以下 ⑤送迎していない	①逗子市内 ②葉山町 ③横須賀市 ④その他の ※送迎頻度が1回以下でない場合は回答不要	①運転する ※運転しない ※運転頻度がちぎれでない場合回答不要	①大きい ②やや大きい ③どちらでもない ④やや小さい ⑤小さい ※送迎頻度が5回以上でない場合は回答不要
買物	①②③④⑤	①②③④⑤	①②	①②③④⑤
通院・通所	①②③④⑤	①②③④⑤	①②	①②③④⑤
買い物等	①②③④⑤	①②③④⑤	①②	①②③④⑤
4. あなたご自身について				
4-1 年代を教えてください。				
交通手段	利用頻度	主な行き先	満足度	
鉄道	①週に3回以上 ②週に1～2回 ③月に1～2回 ④年数回以下 ⑤全利用しない	具体的な行き先について、主なもののみ記入ください。 ※利用頻度が5回以上でない場合は回答不要	①満足 ②やや満足 ③どちらでもない ④やや不満 ⑤不満	
路線バス	①②③④⑤		①②③④⑤	
タクシー	①②③④⑤		①②③④⑤	
4-2 性別を教えてください。				
4-3 住所を教えてください。（町名・丁目それそれ1つだけ）				
4-4 同居しているご家族の構成を教えてください。（複数回答可）				
4-5 運転免許の有無について教えてください。				
交通手段	利用の際に感じる悪い点（複数回答可）	利用の際に感じる悪い点（複数回答可）		
鉄道	①自分で運転しながらよい ②駅や停留所までの近い ③目的地まで早く着く ④安全で移動できる ⑤他の ⑩特にない	①駅や停留所までの駆け出し ②駅や停留所までの高価差が大きい ③目的地まで遅く到着する ④交通機関同士の競争が激しい ⑤到着時間が読めやうない ⑥運賃が高い ⑦運賃が高い ⑧運賃で重い、疲れてしまう ⑨その他 ⑩特にない	②免許を持つており日常的に車を運転する ③免許を持つてない ④免許を持つていない	
路線バス	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	
タクシー	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	
4-6 普段、目的地までの長い距離であれば歩いて移動していますか。				
4-7 普段の歩行時の状況について教えてください。				
4-8 最後に、ご意見・ご提案などございましたら、以下の欄内にお書きください。（書ききれない場合は別紙でも可）				

3. 調査結果(速報)

1) 回答者属性

- 回答者の年代は、75歳以上の割合が3割と最も高く、その他の世代は満遍なく回答が得られている。20歳台の回答が4%とやや少ない。
- 回答者の性別は、女性:男性=6:4となっている。
- 回答者の居住地区は、桜山、沼間、久木、小坪が特に多いが、その他の地区も比較的偏りなく回答が得られている。



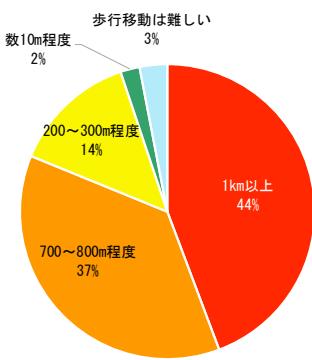
※円グラフ外側:住民基本台帳(令和7年7月31日時点)に基づく居住人口データ
内側:アンケート回答者(年代:N=1,118、性別:N=1,114、居住地区:N=1,101)

- ・運転免許の有無については、免許保有者が全体の6割を占めるものの、自動車を運転しないか、免許を持っていない方の割合も全体の6割となっている。
- ・歩行許容距離は、700～800m以上が全体の8割を占める。
- ・歩行支障の状況は、“特に支障を感じない”方が回答者全体の75%を占めるが、“坂や階段、長距離移動が難しい”という方も15%と一定数みられる。



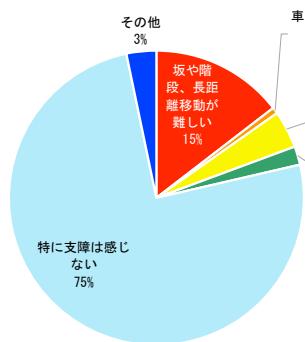
N = 1,113

▲ 運転免許の有無



N = 1,084

▲ 歩行許容距離 ※



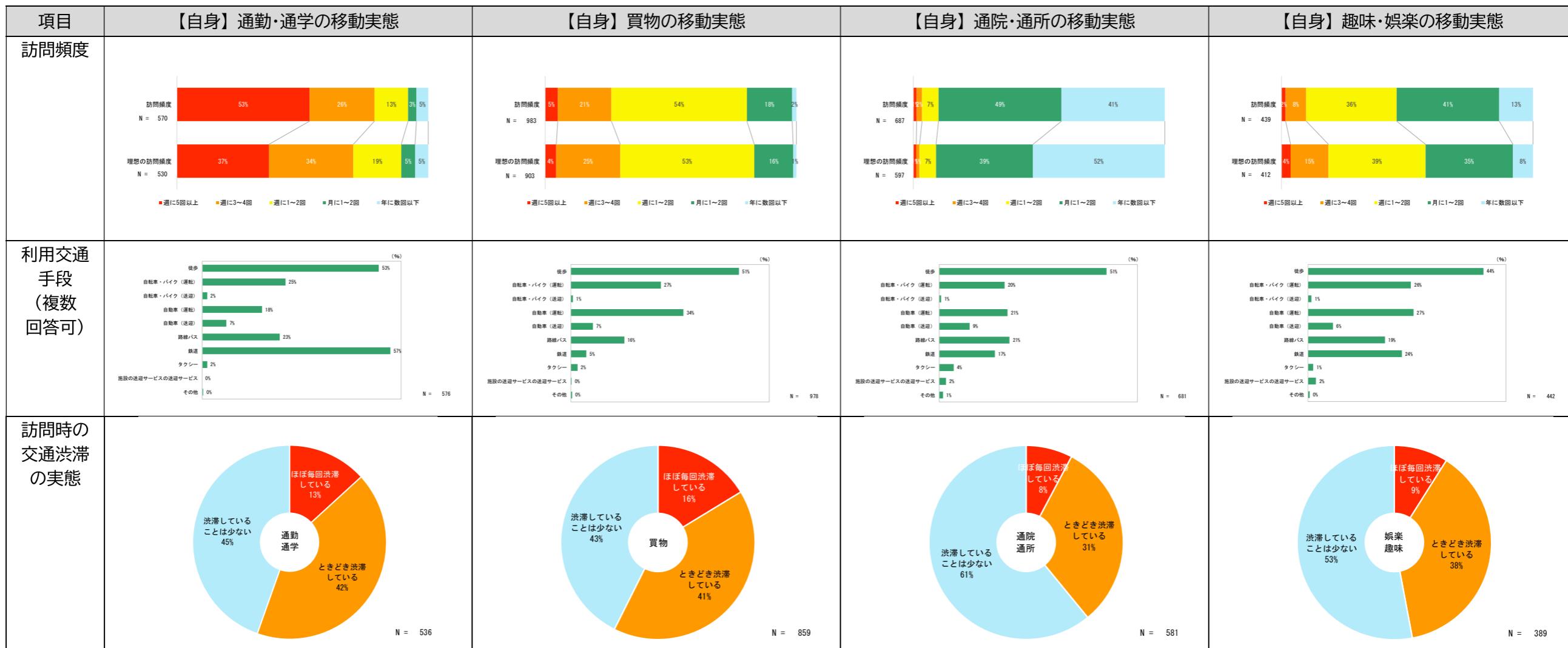
N = 1,044

▲ 歩行支障の状況

※歩行許容距離：普段、目的地まで歩いて移動する距離

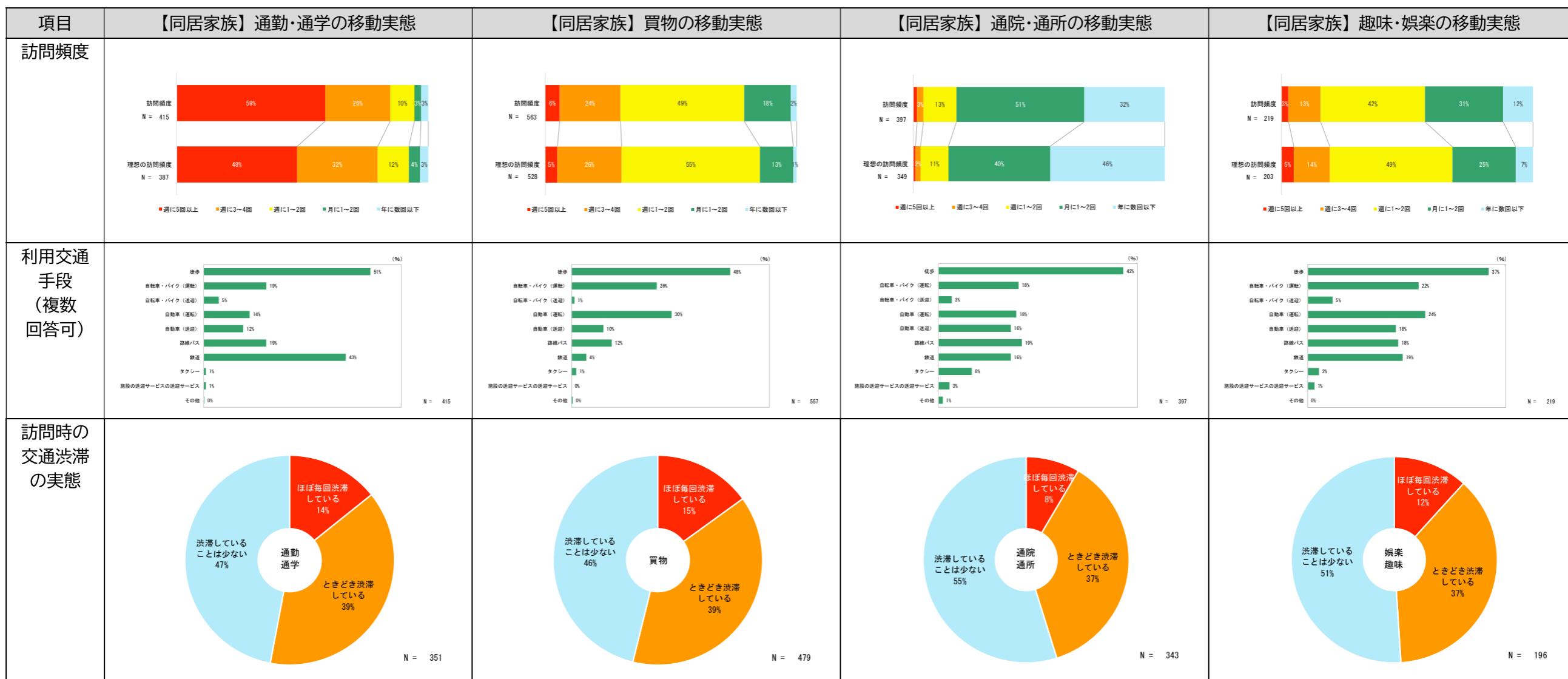
2) 日常生活を送るまでの移動実態

- 訪問頻度については、通勤・通学や通院・通所目的では現状(通勤・通学:週5回以上が半数、通院・通所:週に1~2回が半数)より頻度を減らしたい意向があり、買物や趣味・娯楽目的では現状(買物:週1~2回が半数、趣味・娯楽:月1~2回が4割)より頻度を若干増やしたい意向があることが窺える。
- 利用交通手段については、鉄道は通勤・通学目的での利用が他の目的に比べて高く、回答者の半数を占める。路線バスはいずれの目的でも2割前後と一定の利用がある。その他、自転車・バイク(運転)もいすれの目的でも2割以上の利用がある。自動車(運転)は買物や趣味・娯楽目的で3割程度と比較的の利用が多い。
- 交通渋滞の実態については、通勤・通学や買物目的での移動時はときどき渋滞している、ほぼ毎回渋滞していると回答するケースを合わせて6割弱となっている。通院・通所や趣味・娯楽目的では渋滞していることは少ないケースが過半数を占める。



3) 同居家族※の移動実態

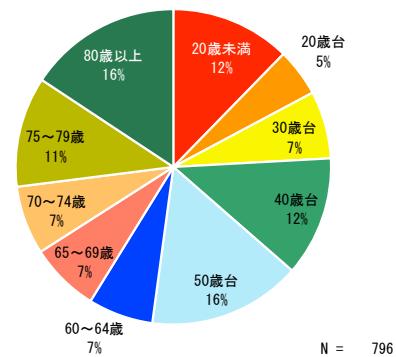
- 訪問頻度については、自身の移動と同様、通勤・通学や通院・通所目的で現状(通勤・通学:週5回以上が6割、通院・通所:月に1~2回が半数)より頻度を減らしたい意向があり、買物や趣味・娯楽目的では現状(買物:週1~2回が過半数、趣味・娯楽:週1~2回が4割)より頻度を若干増やしたい意向があることが窺える。
- 利用交通手段については、鉄道は通勤・通学目的での利用が他の目的に比べて高く、回答者の4割を占める。路線バスはいずれの目的でも1~2割程度となっている。なお、本設問は特に移動に困っている同居家族について確認しているため、自動車(送迎)は、いずれの目的も自身の移動の場合よりも割合が高い。
- 交通渋滞の実態については、通勤・通学や買物目的での移動時はときどき渋滞している、ほぼ毎回渋滞していると回答するケースを合わせて過半数となっている。通院・通所や趣味・娯楽目的では渋滞していることは少ないケースが過半数を占める。



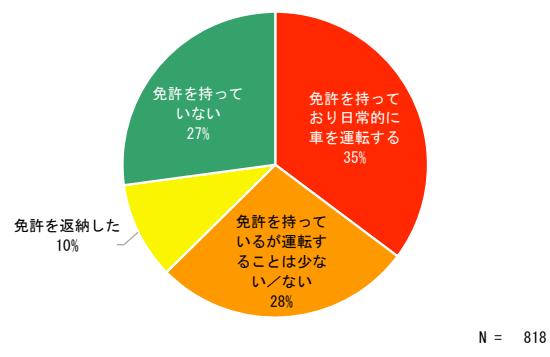
※同居家族:同居家族が複数人いる場合は、特に移動に困っている方(子どもや高齢者など、運転が難しい方)について確認した。

4) 同居家族の年代・運転免許の有無

- 3)で回答した同居家族の年代は、80歳以上や50歳台の割合が高い。20歳未満についても、回答者属性(8%)に比べ高くなっている。
- 同居家族の運転免許の有無については、回答者属性と同様の傾向であり、免許保有者が全体の6割を占めるものの、自動車を運転しないか、免許を持っていない方の割合も全体の6割となっている。



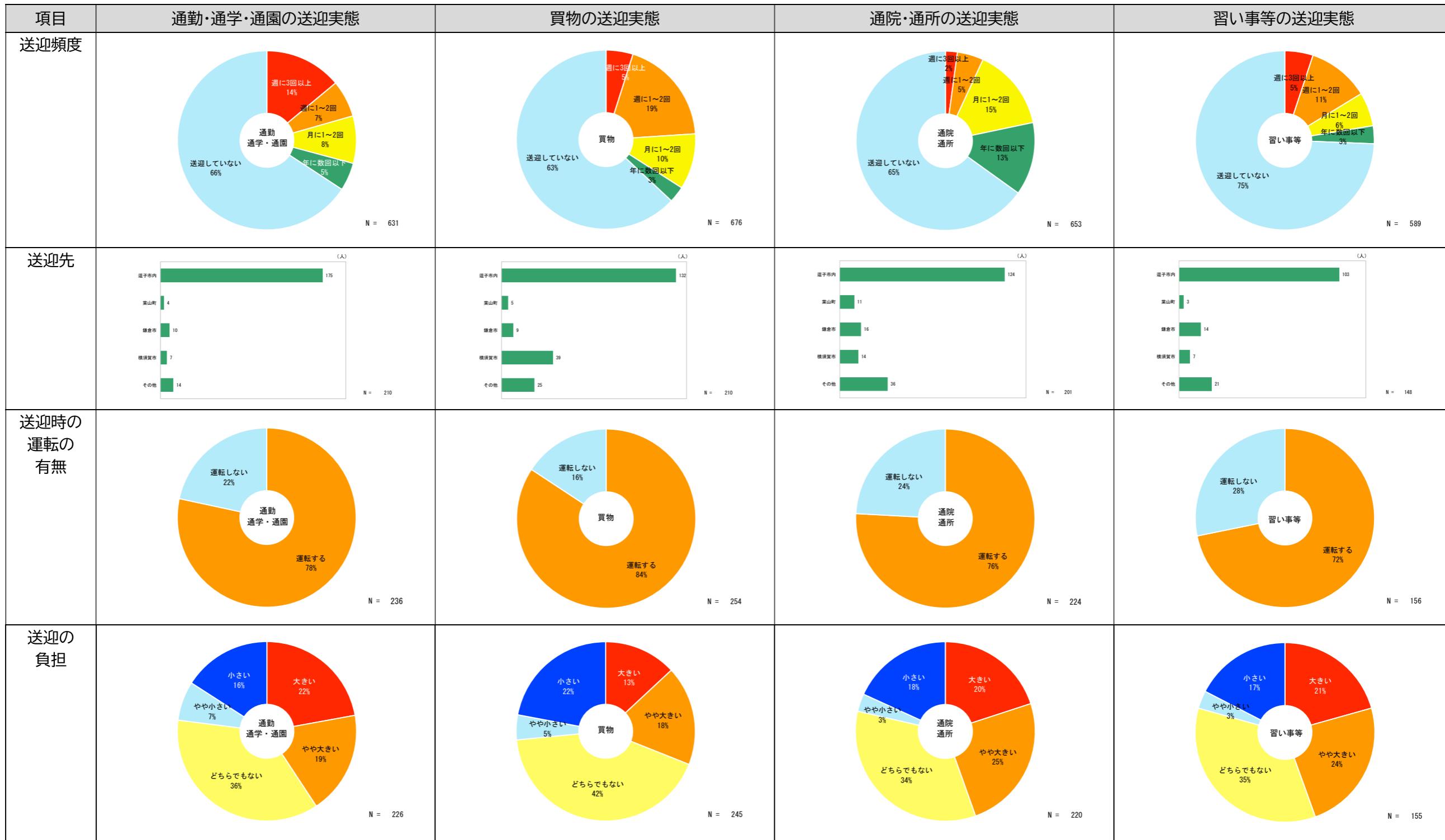
▲ 前問で回答した同居家族の年代



▲ 前問で回答した同居家族の運転免許の有無

5) 送迎実態

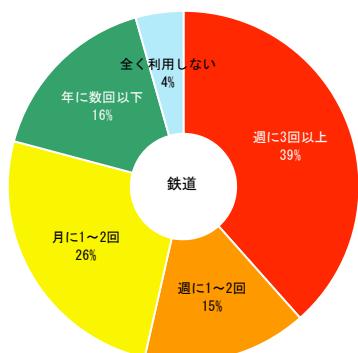
- 送迎頻度は、通勤・通学・通園や買物、習い事等が週に1～2回以上である割合が高い。いずれの目的も送迎先は市内が最多であるが、買物は横須賀市内も多い。いずれの目的でも、送迎時は運転するとの回答が7割以上を占めている。
- 通院・通所目的の送迎は、頻度は少ない一方で、送迎負担は他の目的に比べて大きい。送迎頻度の多い通勤・通学・通園や習い事等も“やや大きい”以上の回答が4割を占めている。



6) 地域公共交通(鉄道・路線バス・タクシー)の利用実態

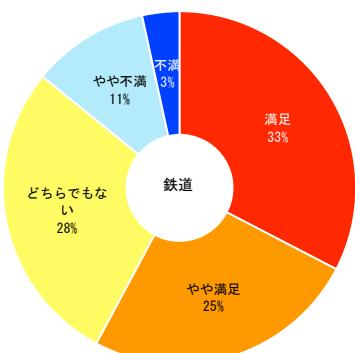
(1) 利用頻度・満足度

- ・ 鉄道は、普段利用する人(月に1回以上の回答者、以下同様)が8割と最多であり、中でも週に3回以上が4割弱を占め、満足度は満足寄りの回答が6割弱を占める。
- ・ 路線バスは、普段利用する人が5割弱を占め、満足度は不満寄りの回答が4割を占める。
- ・ タクシーは、普段利用する人は2割以下となっており、満足度は満足寄りの回答と不満寄りの回答が同程度となっている。



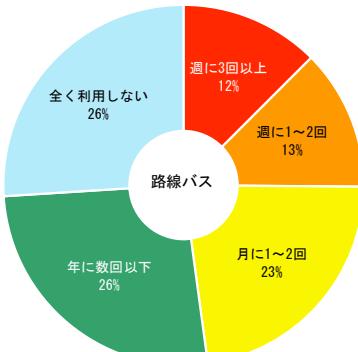
N = 999

▲【鉄道】利用頻度



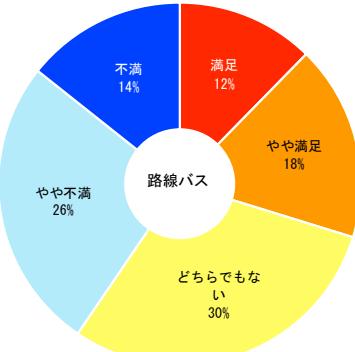
N = 913

▲【鉄道】満足度



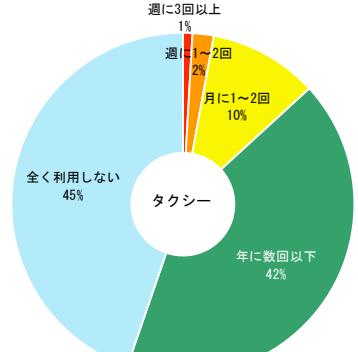
N = 951

▲【路線バス】利用頻度



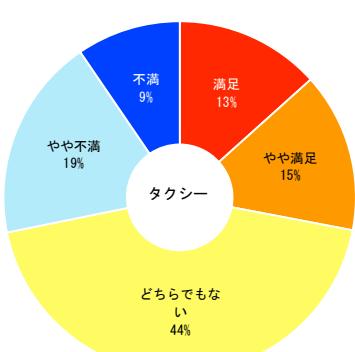
N = 699

▲【路線バス】満足度



N = 894

▲【タクシー】利用頻度

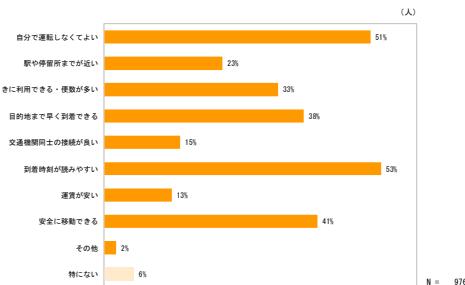


N = 525

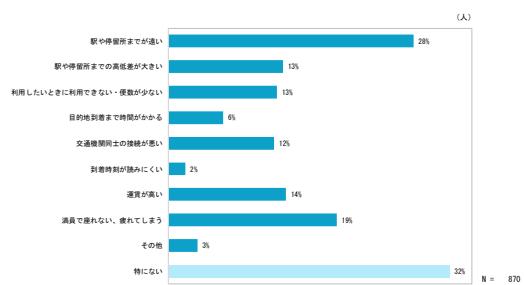
▲【タクシー】満足度

(2) 地域公共交通利用の際に感じる良い点・悪い点

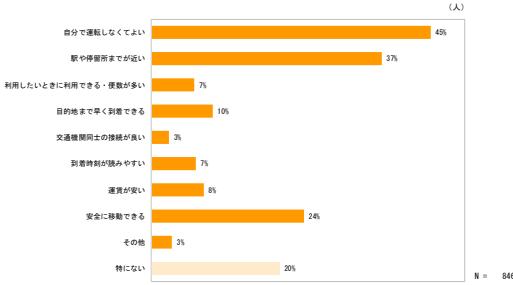
- ・ いずれの交通手段も “自分で運転しなくてよい” ことが良いという割合が高い。
- ・ 鉄道については、到着時刻の読みやすさ、速達性、利便性の高さ等が評価されている一方、駅や停留所までの遠さや満員で座れないことに対して不便を感じる割合が高い。
- ・ 路線バスについては、駅や停留所までの近さは一定評価されていると言えるが、便数の少なさや到着時刻の読みにくさ等に対して不便を感じる割合が高い。
- ・ タクシーについては、目的地まで早く到着できること等は評価されている一方で、運賃の高さや利用したい時に利用できないことに対して不便を感じる割合が高い。



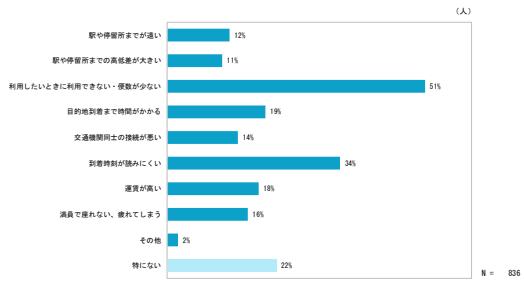
▲ 【鉄道】良い点(複数回答可)



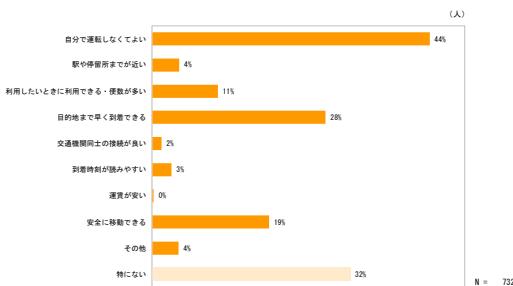
▲ 【鉄道】悪い点(複数回答可)



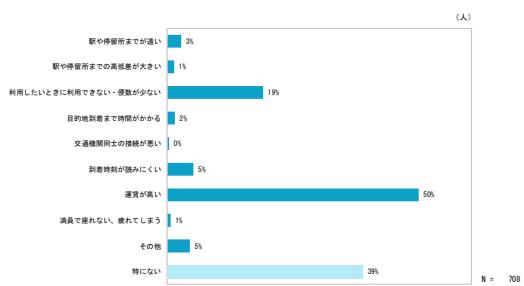
▲ 【路線バス】良い点(複数回答可)



▲ 【路線バス】悪い点(複数回答可)



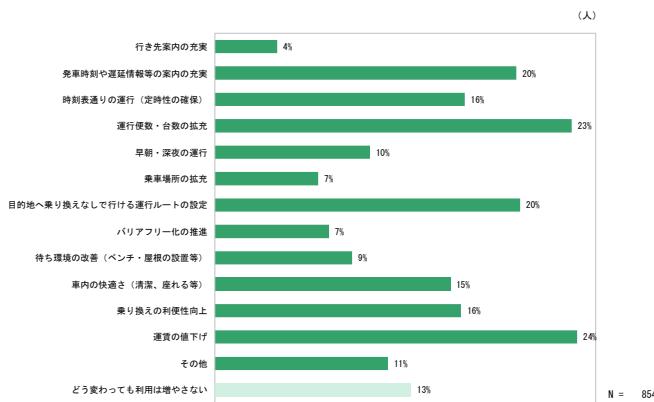
▲ 【タクシー】良い点(複数回答可)



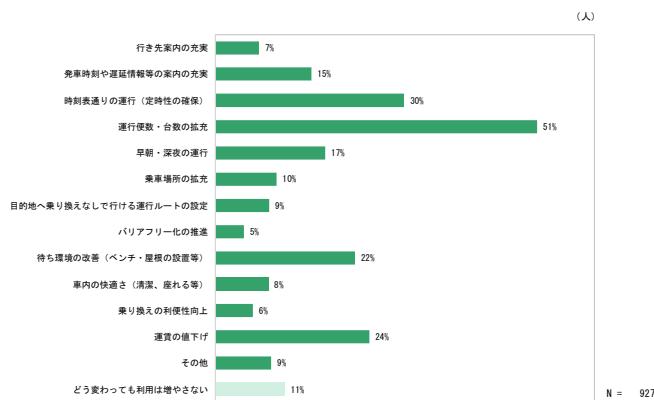
▲ 【タクシー】悪い点(複数回答可)

7) 地域公共交通(鉄道・路線バス・タクシー)に対するニーズ

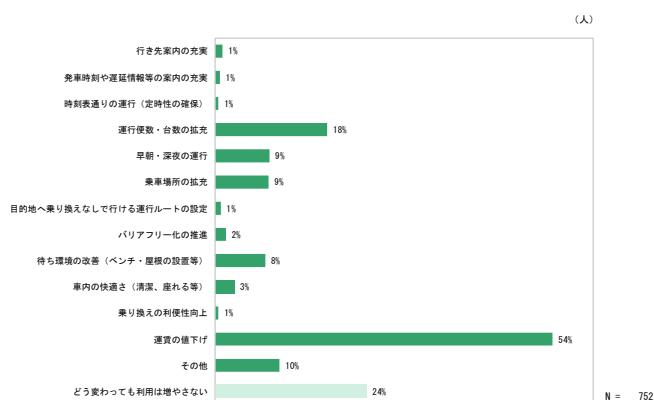
- ・ 鉄道に対するニーズは、運賃の値下げ、運行便数・台数の拡充の順に割合が高い。
- ・ 路線バスに対するニーズは、運行便数・台数の拡充、定時性の確保の割合が高い。
- ・ タクシーに対するニーズは、運賃の値下げが最多であり、過半数を占めている。



▲ 【鉄道】どのように変われば利用を増やすか(上位 3つまで回答可)



▲ 【路線バス】どのように変われば利用を増やすか(上位 3つまで回答可)



▲ 【タクシー】どのように変われば利用を増やすか(上位 3つまで回答可)

【今後クロス集計・解析予定】

- ・(全体)その他欄を含む、自由記述の集計・考察
- ・(p7)歩行許容距離×年代、運転免許の有無
- ・(p7)歩行許容距離、歩行支障×利用交通手段(実質的な力バー圈に対するニーズ確認のため)
- ・(p8,9)主な目的地(自由記述)について、回答の多寡(OD)を図面上で可視化(ニーズの高い移動区間の把握のため)
- ・(p11)送迎頻度×年代、居住地区(送迎負荷が大きいターゲット層の把握のため)
- ・(p12)地域公共交通利用頻度×年代、居住地区
- ・(p12)地域公共交通利用満足度×年代、居住地区
- ・(p13)地域公共交通の良い点・悪い点×年代、居住地区
- ・(p14)地域公共交通に対するニーズ×年代、居住地区
- ・(p13-14)地域公共交通の良い点・悪い点、ニーズ×公共交通を普段利用しているか否か(真の利用者の意見か、使っていない人の意見かを判別)